

第9回鎌倉薬剤師学術研究会プログラム

鎌倉市薬剤師会会長 小宮賢一

横浜薬科大学教授 鷺見 正宏

鎌倉市医師会病院会薬事部会 石井 弘幸

平素より当会事業にご協力いただきまして感謝申し上げます。

さて、平成29年6月20日（火）18：30より標記研究会を開催致します。

鎌倉芸術館改装工事のため、今回は鎌倉鶴ヶ岡会館2Fで開催致します。（2単位）

口頭演題も過去最多の7題です。是非ご出席下さい。

総合司会 鎌倉市薬剤師会 小川亮子

18：30 腰痛、膝関節痛について 塩野義製薬

挨拶 鎌倉市薬剤師会会長 小宮賢一

19：00 口頭発表 座長 横浜薬科大学 村田実希郎

1) 痛みと漢方 横浜薬科大学 難波昭雄

2) 漢方薬を用いた痛みの症例報告 回生堂大町薬局 松村夕起子

3) 健康サポート薬局としての地域貢献、薬剤師の排泄ケアへの介入～はじめの一步～

クオール薬局大船1号店 山中千尋

4) 薬薬連携の必要性を感じた症例 大船中央病院 堤和也

5) 当院の疼痛管理におけるデュロキセチンの使用経験 鎌倉病院 根岸大輔

6) オキシコドン持続皮下注での疼痛コントロールを行った1例

ドクターゴン鎌倉診療所 今城 宏文

7) オキシコドン徐放製剤投与早期における副作用に対する要因分析

特定医療法人 沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院 小澤康久

20：20～21：30

座長 鎌倉市薬剤師会 鈴木大介

特別講演 「最近の知見から考える 急性慢性腰痛治療法」

けいゆう病院 副院長 鎌田 修博 先生

閉会の辞 横浜薬科大学教授 鷺見正宏